

# 高知県中山間地域事前復興まちづくり計画策定指針〈概要〉

## 1 背景・目的

令和6年  
能登半島  
地震  
の教訓

### 中山間地域特有の課題の顕在化

- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内では、通常の再建が困難となるなど、中山間地域特有の課題が顕在化

### 復興の遅れと人口流出の懸念

- 復興計画の策定や事業着手の遅れは、集落や市町村域からの人口流出を招く

### 地域に住み続ける意識の醸成

- 「将来にわたって変わらず残したいもの」や、「解決したい課題」を共有

### 復興ビジョンの事前共有による迅速な復興

- 「地域の思い」と「実現するための選択肢」について、あらかじめ検討しておく

### 「究極の事前防災」による持続可能なまちづくり

- 被災が想定される区域からの事前移転など、思いを実現できる事業を事前に実施

計画策定  
の目的

## 2 計画策定の基本理念

- 被災後の将来のまちの姿を描く際に基礎となる「5つの柱」

命を守る

土砂災害  
地震火災等

生活を  
再建する

家族・住まい  
地域コミュニティ  
地域に住み続ける

なりわいを  
再生する

活力・希望  
生産基盤  
観光資源

歴史・文化を  
継承する

築かれた歴史  
継承された文化  
ふるさとの風景

地域の課題等の  
解決につなげる

人口減少  
少子高齢化  
担い手不足等

## 3 計画の基本的な考え方

- 計画の対象を「中心集落」「周辺集落」「山間(奥部)」の3類型に区分

- 現状の分析、災害リスクの可視化等を行ったうえ、被災後のまちの姿をあらかじめ検討

### 空間単位の考え方



中心集落イメージ

### 中心集落： 暮らしを守り、集う

- 居住、行政、医療、福祉、教育、商業等の機能が共存するエリア。
- 災害時、域外からの物資・人員を受け入れ、分配する広域拠点。
- 市街地を形成し都市計画区域に指定された地区も含む。



山間(奥部)

中心集落

### 周辺集落

### 周辺集落： なりわいを育み、つながる

- 農業・林業など、地域産業を支えるエリア。
- 豊かな自然や地域資源を生かし、都市部住民等と交流を創出。
- 世帯数は、数10～100世帯程度。



周辺集落イメージ



山間(奥部)イメージ

### 山間(奥部)： 自然と共生し、守る

- 水源涵養、土砂災害防止、生物多様性保全といった「国土の多面的機能」を維持する重要なエリア。
- 世帯数は、数世帯～10世帯程度。

## 4 事前復興まちづくり計画のイメージ

「究極の事前防災」として、防災の視点にとどまらず、持続可能なまちづくりを目指す。



## 5 市町村における計画策定の進め方

取組の手順は、行政と住民の役割を明確化した3ステップにより、広域連携や地域実情に応じた柔軟な計画策定を推進する。

